



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月7日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	98,580	9.9	2,749	8.6	2,984	7.8	1,772	16.6
30年3月期第1四半期	89,724	0.3	2,532	45.5	2,769	47.5	1,519	77.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 2,078百万円(0.4%) 30年3月期第1四半期 2,069百万円(162.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	35.19	—
30年3月期第1四半期	30.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	264,245	98,593	36.4
30年3月期	285,181	102,354	35.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 96,154百万円 30年3月期 99,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	64.00	64.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	64.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	1.4	4,400	△27.1	4,600	△27.1	2,600	△28.3	51.83
通期	440,000	3.4	17,500	△4.2	17,800	△6.0	10,500	1.4	209.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	50,834,700株	30年3月期	50,834,700株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	862,968株	30年3月期	235,568株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	50,379,982株	30年3月期1Q	50,599,132株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・平成31年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得による影響を反映させております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米国の追加関税に端を発する貿易摩擦への警戒感が強まりましたが、好調な企業収益を背景に雇用や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、4月より診療報酬・介護報酬のダブル改定が実施され、特に医療材料の償還価格、薬価が大幅に引き下げられました。また、少子高齢化に伴う医療費の高騰や疾病構造の変化、最先端医療への対応、地域包括ケアシステムの構築等、業界再編への対応が迫られております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、調剤報酬改定に伴い、調剤薬局事業が厳しい状況で推移いたしましたものの、トータルパックプロデュース事業における大型のプロジェクト案件が計画通り進捗したこと、ライフケア事業における入居者数の積み上がりが堅調に推移したこと等により、概ね計画通り推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は98,580百万円（前年同四半期連結累計期間比9.9%増）、営業利益は2,749百万円（前年同四半期連結累計期間比8.6%増）、経常利益は2,984百万円（前年同四半期連結累計期間比7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,772百万円（前年同四半期連結累計期間比16.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績を示しますと次のとおりであります。

#### ①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、大型のプロジェクト案件が計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は17,070百万円（前年同四半期連結累計期間比27.4%増）、セグメント利益（営業利益）は1,177百万円（前年同四半期連結累計期間比15.8%増）となりました。

#### ②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、前期における新規SPD施設立ち上げが順調に推移する等、概ね計画通り進捗いたしました。

この結果、売上高は68,078百万円（前年同四半期連結累計期間比7.5%増）、セグメント利益（営業利益）は704百万円（前年同四半期連結累計期間比2.9%増）となりました。

#### ③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、介護報酬改定の影響はあったものの、経営効率化やキャラクターを利用した入居促進策等により、期初より入居者数が積み上がり、堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,921百万円（前年同四半期連結累計期間比7.4%増）、セグメント利益（営業利益）は390百万円（前年同四半期連結累計期間比114.9%増）となりました。

#### ④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、継続的な経営効率の改善策を実施したものの、調剤報酬改定の影響を受け低調に推移いたしました。

この結果、売上高は6,242百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は498百万円（前年同四半期連結累計期間比19.0%減）となりました。

#### ⑤その他

その他におきましては、動物病院の運営、理化学機器の販売が共に概ね計画通り進捗いたしました。また、セキュリティサポート会社の業績が前期に引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,268百万円（前年同四半期連結累計期間比6.0%増）、セグメント利益（営業利益）は105百万円（前年同四半期連結累計期間比38.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は264,245百万円となり、前連結会計年度末と比べて20,935百万円減少いたしました。その主な要因は、商品及び製品が1,396百万円、仕掛品が599百万円、現金及び預金が477百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が22,909百万円、土地が1,546百万円減少したこと等によるものであります。

負債は165,652百万円となり、前連結会計年度末と比べて17,174百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が2,033百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が16,584百万円、未払法人税等が3,697百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は98,593百万円となり、前連結会計年度末と比べて3,761百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,772百万円、その他有価証券評価差額金が244百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が3,238百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.4%（前連結会計年度末比1.4ポイント増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成30年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,644	60,121
受取手形及び売掛金	99,090	76,181
電子記録債権	3,427	3,761
リース投資資産	3,873	3,830
商品及び製品	13,076	14,473
仕掛品	1,269	1,869
原材料及び貯蔵品	605	729
短期貸付金	1,788	1,886
その他	8,759	9,754
貸倒引当金	△86	△92
流動資産合計	191,448	172,515
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,647	19,422
土地	15,556	14,010
建設仮勘定	4,428	4,546
賃貸不動産(純額)	13,395	13,381
その他(純額)	2,743	2,695
有形固定資産合計	55,770	54,056
無形固定資産		
のれん	10,650	10,293
その他	1,129	1,121
無形固定資産合計	11,780	11,414
投資その他の資産		
投資有価証券	7,862	8,265
長期貸付金	9,870	9,761
破産更生債権等	79	125
退職給付に係る資産	983	989
繰延税金資産	3,474	3,233
差入保証金	5,544	5,539
その他	902	877
貸倒引当金	△2,536	△2,533
投資その他の資産合計	26,181	26,259
固定資産合計	93,732	91,730
資産合計	285,181	264,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,716	72,132
電子記録債務	21,786	23,819
短期借入金	2,970	2,970
未払法人税等	4,745	1,048
賞与引当金	1,966	2,335
1年内返済予定の長期借入金	4,676	4,599
その他	13,064	14,900
流動負債合計	137,925	121,806
固定負債		
長期借入金	36,765	35,645
退職給付に係る負債	2,706	2,749
資産除去債務	619	622
繰延税金負債	728	797
その他	4,081	4,029
固定負債合計	44,900	43,845
負債合計	182,826	165,652
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	23,948	23,948
利益剰余金	58,374	56,908
自己株式	△448	△3,000
株主資本合計	97,428	93,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,596	2,841
為替換算調整勘定	△92	△50
退職給付に係る調整累計額	△52	△45
その他の包括利益累計額合計	2,451	2,744
非支配株主持分	2,474	2,438
純資産合計	102,354	98,593
負債純資産合計	285,181	264,245

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	89,724	98,580
売上原価	79,959	88,650
売上総利益	9,764	9,930
販売費及び一般管理費	7,232	7,180
営業利益	2,532	2,749
営業外収益		
受取利息	82	75
受取配当金	82	90
負ののれん償却額	58	58
持分法による投資利益	14	34
貸倒引当金戻入額	7	2
その他	94	69
営業外収益合計	338	330
営業外費用		
支払利息	61	64
為替差損	12	—
その他	27	32
営業外費用合計	101	96
経常利益	2,769	2,984
特別利益		
固定資産売却益	1	57
その他	0	—
特別利益合計	1	57
特別損失		
固定資産売却損	3	—
固定資産除却損	3	0
投資有価証券評価損	11	2
その他	4	—
特別損失合計	22	3
税金等調整前四半期純利益	2,748	3,038
法人税、住民税及び事業税	1,174	1,118
法人税等調整額	24	181
法人税等合計	1,198	1,300
四半期純利益	1,550	1,738
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	30	△34
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,519	1,772

四半期連結包括利益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,550	1,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	538	244
為替換算調整勘定	△20	88
退職給付に係る調整額	1	6
その他の包括利益合計	519	339
四半期包括利益	2,069	2,078
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,043	2,065
非支配株主に係る四半期包括利益	25	12

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月11日開催の取締役会決議に基づき、普通株式627,400株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,552百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,000百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,394	63,335	5,515	6,283	88,528	1,195	89,724	—	89,724
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	371	285	45	604	1,307	20	1,328	△1,328	—
計	13,765	63,621	5,560	6,888	89,835	1,216	91,052	△1,328	89,724
セグメント利益	1,016	684	181	615	2,497	76	2,573	△41	2,532

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△42百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	17,070	68,078	5,921	6,242	97,312	1,268	98,580	—	98,580
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	348	266	45	451	1,112	61	1,173	△1,173	—
計	17,418	68,345	5,966	6,694	98,425	1,329	99,754	△1,173	98,580
セグメント利益	1,177	704	390	498	2,769	105	2,875	△125	2,749

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業、セキュリティ事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△125百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△105百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

（追加情報）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。